

令和元年度

議会報告会



《 次 第 》

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 班員紹介
- 4 報 告
 - (1) 平成 30 年度 議会の活動状況
 - (2) 予算、決算等の審議概要
- 5 報告についての質疑応答
- 6 意見聴取
- 7 閉 会



【能代市議会】

【議会報告会日程】

日	時	会 場	担当班
8月23日(金)	午後7時00分	中央公民館	1 班
		南部公民館	2 班
		鶴形公民館	3 班

【議会報告会班構成】

班	班 長	班 員 (議席番号順)		
1 班	小林 秀彦	大高 翔	佐藤 智一	針金 勝彦
		安岡 明雄	原田 悦子	
2 班	武田 正廣	安井 英章	畠 貞一郎	落合 康友
		伊藤 洋文	庄司 紘八	
3 班	藤田 克美	菊地 時子	菅原 隆文	渡邊 正人
		安井 和則	落合 範良	

4 報 告

(1) 平成30年度 議会の活動状況

① 本会議

月 日	事 項
5月15日	5月臨時会を開会した
6月12日	6月定例会を開会した(27日まで)
7月30日	7月臨時会を開会した
9月 4日	9月定例会を開会した(20日まで)
12月 4日	12月定例会を開会した(19日まで)
2月26日	3月定例会を開会した(3月19日まで)

議会開会回数 定例会 4回 臨時会 2回

会期合計日数 73日(うち開議日数22日)

本会議平均出席議員数 20人(条例定数20人)

② 議案の議決件数

(単位：件)

区 分	市 長 提 出							議 員 提 出		計
	可決	修正 可決	同意	認定	承認	否決	継続 審査	可決	否決	
条 例	35							2		37
予 算	47									47
決 算				3			1			4
専 決					7					7
意見書								8		8
その他	13		13							26
計	95	0	13	3	7	0	1	10	0	129

③ 請願・陳情処理件数(単位：件)

区 分	請 願	陳 情
採 択		10
不 採 択		7
取り下げ		2
一部採択等		
継続審査	1	3
審議未了		
計	1	22

④ 常任委員会・特別委員会等開催数

区 分	回数(回)	備 考
委員会開催数	51	
常任委員会	18	総務企画 6、文教民生 6、産業建設 6
議会運営委員会	23	
特別委員会	10	決算 2、議会基本条例策定 8
その他会議の開催数	27	会派代表者会議 11、会派世話人会 3、 正副委員長会議 1、常任委員会協議会 2、 議会運営委員会協議会 2、広報委員会 8

⑤ 行政視察

委員会	視察日	視察市	視 察 項 目
総務企画 委員会	10月9日) 10月11日	大阪府豊中市	施設再編方針に基づく施設再編 行財政改革の推進
		和歌山県 海南市	津波・地震対策（防災施策と災害時 の対策、危機管理に対応する市の担 当部局と体制、他自治体や民間企業 との支援協定） 自主防災組織の組織化、市のかかわ り、支援
文教民生 委員会	10月10日) 10月12日	千葉県 木更津市	まなび支援センターの事業 健康増進センター（いきいき館）
		埼玉県 東松山市	子育て世代包括支援センター きらめき市民大学
産業建設 委員会	10月22日) 10月24日	兵庫県洲本市	エネルギーパーク洲本 北前船関連資源
		兵庫県赤穂市	水道事業 赤穂観光アクションプログラム
議会運営 委員会	1月28日) 1月29日	大阪府八尾市	予算決算常任委員会 常任委員会の所管事務調査

(2) 予算、決算等の審議概要

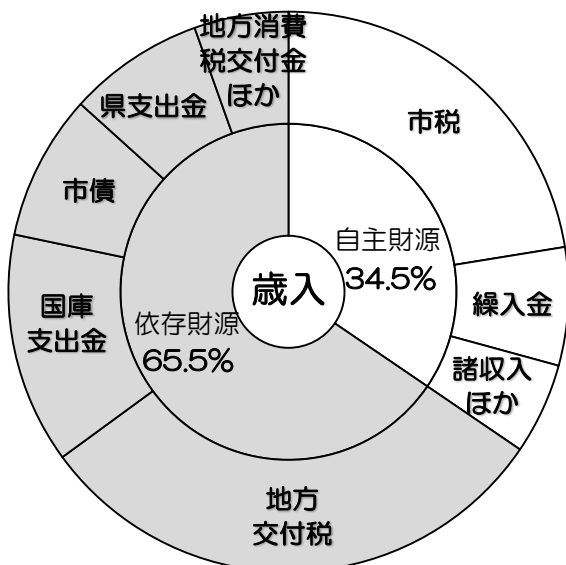
① 令和元年度能代市一般会計当初予算について

一般会計とは、福祉、教育、産業振興、道路整備などまちづくりに必要なお金を経理する会計で、令和元年度当初予算は 272 億 7000 万円となっています。

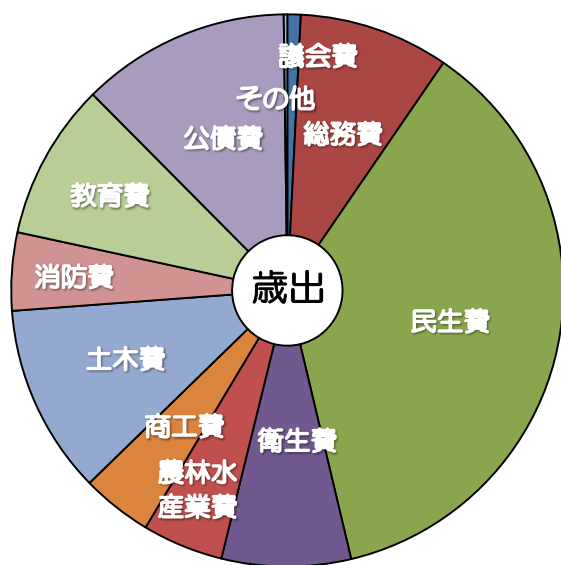
毎年3月定例会において、市長から次年度の予算案が提案されて、議会の中で各分野に分かれた委員会において詳細な審査をしています。その各委員会での主な質疑をお知らせします。

なお、令和元年度一般会計当初予算は、賛成多数で可決しました。

一般会計歳入予算



一般会計歳出予算



市税	(22.4%)	約61億円	議会費	約2億円	市議会の運営に
繰入金	(6.8%)	約19億円	総務費	約24億円	まちの行事や防災、市役所の管理などに
諸収入ほか	(5.3%)	約14億円	民生費	約100億円	高齢者や障がい者、子供達などのために
地方交付税	(30.4%)	83億円	衛生費	約21億円	ごみ収集、健康診査や予防接種などに
国庫支出金	(13.3%)	約36億円	農林水産業費	約13億円	農業や林業の振興などのために
市債	(8.4%)	約23億円	商工費	約11億円	中小企業や工業や観光などの振興のために
県支出金	(7.9%)	約21億円	土木費	約30億円	道路や下水道の整備などに
地方消費税交付金ほか	(5.5%)	約15億円	消防費	約12億円	消防活動や救急業務などに
			教育費	約25億円	学校や文化・体育施設などの教育関係に
			公債費	約33億円	市の借入金返済に
			その他	約1億円	災害など緊急時の予備などに

【総務企画委員会】

総務部や企画部などの事務、予算については歳入全部と議会費、総務費、消防費、公債費を主に審査しています。

質 今後の予算編成はどのような考えのもと、行っていくか。

答 令和元年度以降、ごみ処理施設整備事業等が予定されており、歳出が拡大することが予想されるため、行財政改革による歳出の削減をより一層進める必要があるが、人口減少対策や産業振興等、必要な施策についてはしっかり行っていかなければならないと考えている。

質 人口減対策として新たに推進室を設置するとのことであったが、詳細について知らせてほしい。

答 平成31年4月1日に人口政策・移住定住推進室を設置した。業務内容としては、人口動態の検証、分析や総合戦略の策定のほか、移住定住推進のための環境整備、移住定住に係る地域おこし協力隊に関すること、出会い創出事業となっている。

質 道の駅ふたつについて、来場者数及び売り上げの実績はどのように推移しているか。

答 管理運営計画では年間約46万人の来場を見込んでいるが、平成30年7月のオープンから平成31年2月末現在で約60万7000人の来場者を記録している。また、売り上げに関しては年間で約2億7600万円を計画しているが、2月末現在で約2億6500万円を記録しており、順調に推移している。

【文教民生委員会】

市民福祉部や教育部などの事務、予算については民生費、教育費を主に審査しています。

質 東デイサービスセンター廃止後の受け入れ先の調整は。

答 市内の事業所に受け入れのアンケート調査をしたところ、民間施設での受け入れは可能と考えており、現在利用しているサービス内容に近い形態の事業所をリストアップするなど、利用者や御家族等に情報提供をしながら利用者が不安なくサービスを利用できるよう対応していきたい。

質 脳ドック助成事業費の概要は。

答 市税等の滞納がない40歳以上の市民を対象に、2万円を上限とする検診費用の2分の1を助成する。市内の医療機関は、能代厚生医療センターと瀬川医院のみであるが、今後は秋田市等の医療機関との契約も視野に入れていきたい。

質 就学援助について文科省は令和元年度予算で要保護世帯の一部単価の引き上げを計上しているが、市の予算にも反映されているか。新規の補助対象費目となる卒業アルバム代等の項目についても対応するか。

答 単価の引き上げについては市でも予算計上しており、準要保護世帯についても生活保護基準の改正にあわせ単価を改正している。新規の項目については、現段階で追加することは考えておらず、今後の課題として考えている。

【産業建設委員会】

環境産業部や都市整備部などの事務、予算については衛生費、農林水産業費、商工費、土木費を主に審査しています。

質 風の松原いこいの広場整備事業費の概要と、管理者である米代西部森林管理署からの整備許可状況は。

答 風の松原の各ボランティア団体から器具庫の設置及びトイレの改修について要望が出されていることなどを踏まえ、整備の基本設計を行う。事業の実施に当たっては、県の補助を活用しながら、交流施設の新設、トイレの洋式水洗化、フィールドアスレチックの改修を行いたいと考えている。管理署では、いこいの広場は保安林指定が解除されており、公共施設の整備であれば問題ないとしている。

質 農家の米の生産目安について、県が示す目安と、農業団体からの生産要望とが異なるが。

答 市としては、農協や集荷業者等の方針作成者それぞれの販売可能な量を把握し、市の生産の目安を決めており、それに沿って生産するため、売れ残ることはないと考えている。市では農協や集荷業者に対し、確実な販売先を確保するよう指導してきており、これにより順調に推移しているものと思われる。

質 市営万町住宅の建てかえ予定は。

答 現在の住生活基本計画では平成 29 年度に設計、令和元年度以降に除却、建てかえとしているが、関連計画の策定状況等を踏まえる必要があったことから、建てかえの検討を一時中断しており、当初のスケジュールから2年ほどのおくれが生じている。老朽化が進んでいる建物であるため、検討を急ぎ、今後具体的なスケジュールを定めていく必要があると考えており、能代市総合計画や中心市街地活性化計画等との整合を図りながら、検討を進めていきたい。

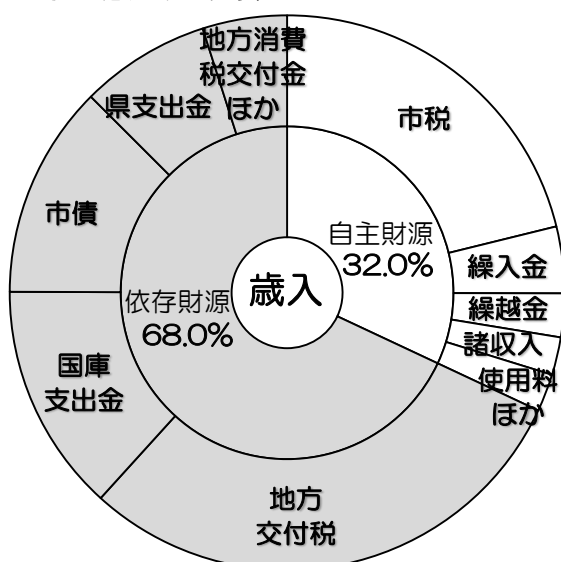
② 平成 29 年度能代市一般会計決算及び特別会計決算について

市における決算とは、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績を表したものです。平成 29 年度一般会計決算は、歳入総額が 290 億 9580 万 6189 円、歳出総額が 283 億 1450 万 2136 円で、実質収支は 7 億 4139 万 8663 円でした。

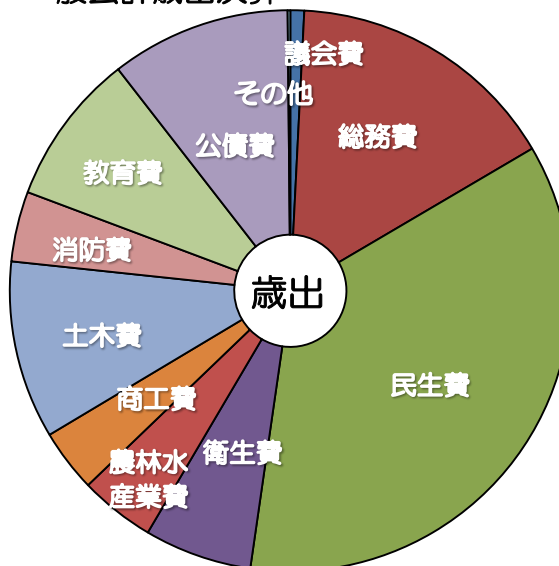
毎年 9 月定例会において市長から前年度の決算書等が提出され、予算が適正に執行されたか、収入が適正に確保されたかなどを議会閉会后に決算特別委員会で詳細に審査しています。平成 29 年度決算については、昨年 12 月定例会において全会一致で認定しています。

なお、ことしからは新年度予算へ審査結果を反映できるよう、9 月定例会の中で、決算特別委員会での審査、認定を行う予定です。

一般会計歳入決算



一般会計歳出決算



市税	(21.2%) 約 62 億円	議会費	約 2 億円 市議会の運営に
繰入金	(3.9%) 約 11 億円	総務費	約 45 億円 まちの行事や防災、市役所の管理などに
繰越金	(2.5%) 約 7 億円	民生費	約 101 億円 高齢者や障がい者、子供達などのために
諸収入	(2.2%) 約 6 億円	衛生費	約 18 億円 ごみ収集、健康診査や予防接種などに
使用料ほか	(2.2%) 約 6 億円	農林水産業費	約 12 億円 農業や林業の振興などのために
地方交付税	(29.8%) 約 87 億円	商工費	約 10 億円 中小企業や工業や観光などの振興のために
国庫支出金	(13.3%) 約 39 億円	土木費	約 29 億円 道路や下水道の整備などに
市債	(12.4%) 約 36 億円	消防費	約 11 億円 消防活動や救急業務などに
県支出金	(7.6%) 約 22 億円	教育費	約 25 億円 学校や文化・体育施設などの教育関係に
地方消費税交付金ほか	(4.9%) 約 14 億円	公債費	約 29 億円 市の借入金返済に
		その他	約 1 億円 災害など緊急時の経費などに

【決算特別委員会】

一般会計のほか国民健康保険特別会計、介護保険特別会計など 10 ある全ての特別会計の決算を審査します。

質 歳入の関係について、実質単年度収支が赤字となったことについてどう捉えているか。

答 平成 28 年度に続き 29 年度も赤字となったものであるが、地方交付税の減額等により財政調整基金を取り崩して対応していることから、赤字になったものと捉えている。地方交付税は、合併算定がえの縮減等により今後も減額が見込まれる状況であり、実質単年度収支を黒字化するためには、自主財源の確保と歳出の削減が必要であるが、急激な事業の縮小は市民生活に与える影響が大きいことから、当面は基金を取り崩しながら財政運営していくことになると想定される。基金がある程度残っている段階で、収支の均衡を図る必要があると考えている。

質 決算を踏まえた今後の市債の考え方について。

答 公債費負担比率は、14.6%で、前年度より 0.2 ポイント悪化しており、過疎債等の有利な起債を活用して事業を進めているが、起債残高が多くなれば実質負担もふえていくことから、今後については、より厳しく事業を選択した上で活用していく。一方で、市民生活への影響も考慮していかなければならないことから、今後の財政運営では、こうした 2 つの視点をもちながら、将来的な負担を十分考えて市債を活用していきたい。